

低次元ナノ構造制御による先端
セラミックス材料への高次機能集約Multifunctionalization of Advanced Ceramics through Low-dimensional
Nanostructure control

研究分野

先端ハード材料

研究者

関野 徹
T. Sekino

▶ キーワード Keyword

バルク材料、セラミックス、複合化、異方構造、自己組織化、多機能化、力学的性質、物理的性質
bulk material, ceramics, composite, anisotropic structure, self-organization, multifunction, mechanical properties, physical properties

▶ 応用分野 Application

機能性構造用材料、能動的センサデバイス、デバイス製造装置、熱電変換デバイス、人工歯骨
functional structural materials, active sensor, device manufacturing, thermoelectric device, artificial teeth/born

▶ 目的・期待される効果

- 力学的機能と物理的機能が高次に融合したバルクセラミックスの創成
- デバイス型機能材料の創製およびシステム小型・軽量・低コスト化

研究開発段階

基礎

実用化準備

実用化

研究内容

▶ 概要

構造用材料の持つ力学的・熱的機能を更に向上させると共に、電気的性質と光学的性質、磁氣的誘電的性質などの機能性を同時に共生させた次世代型の機能性構造材料の創製研究を行っています。このためにセラミックスを中心としたバルク材料構造中の構造ユニット毎にその異方構造や配列構造および界面を設計・制御すると共に、各機能評価と機構解明を通じて先端ハード材料への高次な機能集約を行っています。

▶ 技術内容

ジルコニアなどのセラミックスにカーボンナノチューブやナノ粒子などをパーコレーション制御して配することで、また、三次元的に展開される結晶粒界や異相界面物性を in-situ 組織形成を経た焼結法で制御し、機能性を同時付与した複合材料が作製できます。これにより優れた強度と電気的・磁氣的性質が共存した $ZrO_2/CNT/Ni$ ナノ複合材料や、自己組織化相分離制御により異なる半導体的性質からなる高密度ヘテロ界面が周期構造としてバルク内部に展開された SnO_2/TiO_2 セラミックスなどが得られます。

▶ 特長(優位性)

構造的機能(力学特性、耐摩耗性、耐熱性)に限定されていた従来の構造用セラミックス、或いは金属や高分子材料に、多様な機能を集約することが可能となります。これにより光電変換機能やセンシング、熱電変換機能を持つ構造体など、そのものがデバイス型機能を持つバルク構造体や次世代型生体適合性材料などへの展開が期待されます。

【論文 Paper】

- [1] Dental Mater. J., 33 (2014) 220.
- [2] J.Alloys Compd. 494 (2010) L3.
- [3] まてりあ, 48 (2009) 499.
- [4] J.Ceram.Soc., Jpn 116 (2008) 491-496.

【特許 Patent】

- [1] 特許第5189786号
- [2] 特許第4900569号
- [2] 特許第3955901号

